

国土交通省では、建設現場における生産性を向上させ、魅力ある建設現場を目指すため、i-Constructionの推進を行っています。

このたび、庄内川河川事務所で全国に先駆けて行っている建設ICTを活用したしゅんせつ工事の現場見学会を開催し、未来の建設業界を担う大学生の皆様に工事現場のデジタル化を体験していただきました。



庄内川しゅんせつ事業及び建設ICTの取組み説明



建設ICTを活用したしゅんせつ状況の見学



しゅんせつ工事の概要説明



ドローンによる土量の測量方法の見学

〔実施内容〕

- 庄内川河川事務所より、庄内川しゅんせつ事業及び国土交通省での建設ICTの取組みについて説明しました。
- 受注者のみらい建設工業より建設ICTを活用したしゅんせつ工事の概要説明を行いました。
- 実際にしゅんせつ船に乗り、マシンガイダンスバックホウの掘削状況を見学していただきました。
- 3次元測量データにてしゅんせつ施工量の確認及びドローンによる土量の測量や現場での安全管理等建設ICT活用状況を見学していただきました。

i-Construction: 測量から設計、施工、検査、維持管理に至るすべての事業プロセスでICTを導入する事により建設生産システム全体の生産性向上を目指す取組み
建設ICT: 一連の建設生産システムにおいて、効率化・高度化による生産性向上に寄与する情報通信技術

日 時 : 令和2年12月8日(火) 14:00~15:00

場 所 : 名古屋中川区大蟠郷地先

工事名 : 令和2年度 庄内川大蟠郷地区しゅんせつ工事

参加者 : 名古屋工業大学の学生 9名

参加した大学生の感想

建設ICTを活用する事によって正確かつ、効率的に工事ができることを感じた。

ICT技術を利用する事で経験や性別等にかかわらず現場で活躍できるようになってきている事が分かった。

工事現場は泥臭いイメージがあったが、ICTでスマートになっていて自分でもすぐ活躍できそうだと感じた。

※本現場見学会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者を少人数に分けて見学を行うとともにマスクの着用、消毒、検温等を徹底して実施しました。